

県ではUDを実践するための手引きを作成しています

大分県のホームページからダウンロードできます。

<http://www.pref.oita.jp/12030/ud/>

こころ

- 街中での案内・介助の手引き
- ユニバーサルデザイン学習資料

まち

- わかりやすい案内・誘導サイン等の手引き
- だれもが利用しやすい施設づくりの手引き

サービス

- わかりやすい印刷物のつくりかた
- だれもが楽しく参加できるイベントづくりの手引



ホームページ「おおいた・バリアフリーマップ」について

<http://www.pref.oita.jp/12000/bfmap/>



約2,400の施設を掲載しています。おでかけの際の参考にしてください。



おおいた・福祉のまちづくりハンドブック 平成20年3月発行

発行

大分県福祉保健部地域福祉推進室
〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号
電話 097-506-2622 FAX 097-506-1732
e-mail a12030@pref.oita.lg.jp



表紙の大分県UDシンボルマークは、大分市の幸崎和美さんの作品です。カボスをモチーフにすることで大分県らしさを表現し、「U」は人の顔で人(私たち)、「D」はカボスの断面図でいろいろな切り口からUDを考えるとすることを表しています。

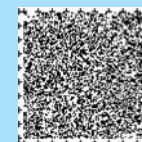
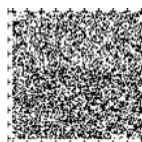
おおいた・福祉のまちづくり

ハンドブック



大分県ユニバーサルデザイン・シンボルマーク

大 分 県



大分県では、ユニバーサルデザインを推進しています

～ すべての人との共生をめざして～



“ユニバーサルデザイン(UD)”ってなに？



『**みんなのためのデザイン**』という意味です。
「すべての人が利用しやすい、すべての人を思いやる
まちづくり、ものづくりを行う」という考え方は、UD
の考え方が広まっている社会を『**ユニバーサル社会**』
(共生社会)と呼んでいます。



“バリアフリー”とどう違うの？

	バリアフリー	ユニバーサルデザイン
考え方	あとからバリアを取り除く ＝問題解決型	はじめからバリアをつくらない ＝創造的提案型
対象者	特定の人(お年寄り、障がい者) ＝人を分けて考える	すべての人 ＝人を分けて考えない
整備の 度合い	健常者と同じように 使えるように	だれもが使えるように
共通点	暮らしやすい社会を目指そうとする理念、方向性	

ユニバーサルデザイン
(みんなのため)

バリアフリー
(特定の人のため)



今あるバリアはバリアフリーの考え方で取り除き、
今から新しくつくるものにはユニバーサルデザ
インの考え方を取り入れることが大切です。

私たちのまわりのユニバーサルデザイン



「使える人を増やす」
「使えない人を減らす」ことは
ユニバーサルデザインの本質です。



子供

がびょう

針に柔らかいカバーが付いて
いて、使うときに刺さりにくい
ので、小さな子どもも安全で
す。



左ききの人

トランプ

字が四隅に書いてあるので、
左ききの人でも楽しめるよう
になっています。



案内所

问讯处 Information
服务处 안내소



ここで喫煙はできません

请勿吸烟 No Smoking
請勿吸煙 흡연하지 마주세요

多言語表記の標識

外国人にも
意味がわかります



外国人



お年寄り

杖かけ

杖や傘を掛けることができま
す。お年寄りも安心です。



子供



車いす利用者

自動販売機

背が低いので小さな子どもや
車いす使用者も使えます。



子供



車いす利用者

洗面台

はじめから低い洗面台を設置
しています。



ベビーカーを
押している人



車いす利用者

立体駐車場

段差がなく広いので、車いす
使用者やベビーカーを押す人
も安心して利用できます。



お年寄り



障がいのある人



ひろびろ試着室
どなたでもご利用になれます。



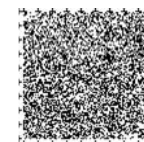
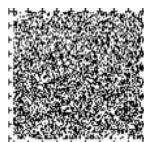
ベビーカーを
押している人

試着室

段差がなく、ベビーカーを押したま
ま入ることのできるスペースを確保
しています。



まちづくりやものづくりを進める
ときは、「できるだけいろいろな
人が使えるように」と考えること
が大切なんですね。

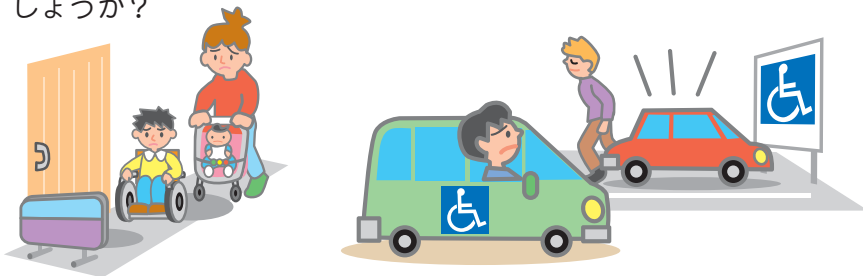


ユニバーサル社会の実現のために必要なこと

なによりも、「意識づくり」が大切です

日常生活を見直してみよう

- わたしたちにとっての「あたり前」は、すべての人にとっての「あたり前」でしょうか？
- わたしたちの何気ない行為が、他の人に迷惑をかけていないでしょうか？



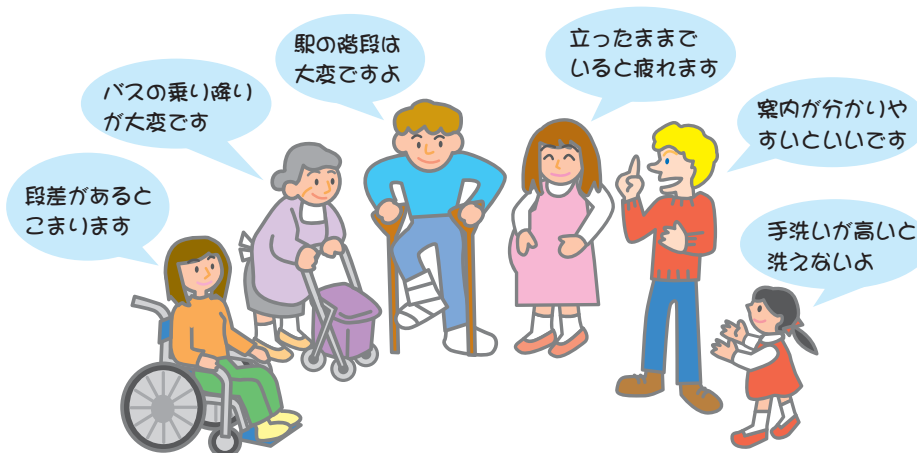
こころのユニバーサルデザインを大切に

ユニバーサルデザインはまちづくりやものづくりだけでなく、助け合いや思いやりのこころ、マナーなどを態度や行動に表していくこととも言えます。



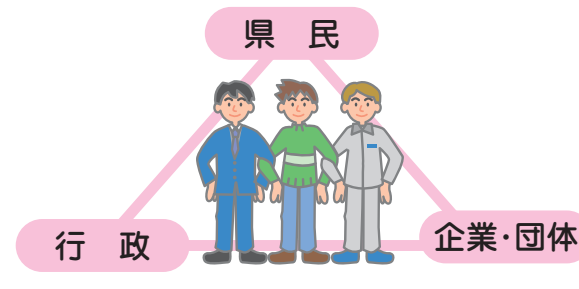
プロセス(過程)と積み重ねが大切です

さまざまな人の意見を聴き、「使える人を増やす」「使えない人を減らす」という改善を積み重ねていくことが、ユニバーサル社会の実現につながります。



パートナーシップ(協働)が大切です

本当に暮らしやすい社会になるためには、あらゆる主体が連携・協働する必要があります。



おおいたユニバーサルデザイン賞

平成19年度「おおいたユニバーサルデザイン賞」受賞者紹介

UDに関する県民の理解と関心を一層深め、ユニバーサル社会の実現のための気運を高めることを目的に、平成19年度に募集し、他の模範となる優れた取組み、活動やUDアイデアを表彰しました。

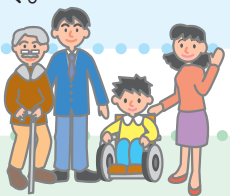
施設部門



高齢者や障がい者を含むすべての人が快適に、安全に安心して利用することができ、UDの考え方を取り入れた施設。

※国及び県の公共施設や、福祉・保健関連施設は除く。

団体・個人部門



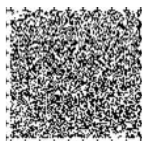
高齢者や障がい者を含むすべての県民が快適に、安心して暮らすことができるUDの「まち」「もの」「仕組み」づくりを進めるため、地域で活動を行っている個人・団体。

アイデア部門



身近な暮らしの中で、誰もが使いやすく、誰もが快適なUDのアイデア。

◇「一般の部」(高校生以上) ◇「児童・生徒の部」(小・中学生)



施設部門

パーキングズー 有限会社若山産業 (大分市)



施設外観

大分市都町にあります



段差がなく、広い立体駐車場

誰もが快適です

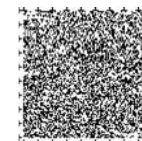


車いす使用者も安心です



小さな子ども連れも安心です

オールフラットの立体駐車場で、多様な人が利用しやすいよう、駐車場のユニバーサルデザインを実現しています。設計時に、車いす使用者による検証を繰り返し実施していることなども評価されました。



施設部門

安心院葡萄酒工房 三和酒類株式会社 (宇佐市)



施設入口

施設全体が段差のない造りになっています



トイレ入口

男女両方に多目的トイレが整備されています

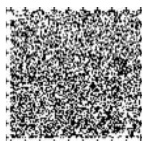


休憩スペース

施設の随所に設置されています



駐車場から施設内まで、全体が段差のないフラットな造りになっています。高齢者や障がい者などの意見を積極的に採り入れ、施設のさらなる改善のためにスパイラルアップの考え方を構築していることも評価されました。



団体・個人部門

大分県デザイン協会・ユニバーサルデザイン研究会



平成17年度は大分市の明野アクロスで、平成18年度は別府市のピーコンプラザでUDマーケット、UDフェアを実施しました。

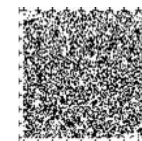


平成18年度は11の企業・団体のUD日用品などを出展しました



UD製品の研究を行うUD研究会の皆さん

ユニバーサルデザインの研究とあわせて、UDマーケットやUDフェアを開催し、また紙上で、UD製品紹介の記事連載(全15回)を行うなど、県民に対するUD啓発、普及に積極的に取り組んでいることが評価されました。



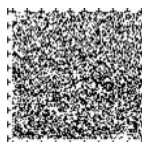
アイデア部門

ユニバーサルブロック “学点木(まなてんき)”
企業組合みずから (中津市)【一般の部】



視覚障がい者だけでなく、だれもが点字を学びやすいようになっています

疾病や事故などにより途中で視力を失った人の中には、点字の学習をあきらめてしまっている人が少なくないという実態があります。“学点木”は、一文字ごとに積木サイズのブロック(5cm四方)になっており、視覚障がい者はもちろん健常者も分かりやすく学ぶことができる点が評価されました。(特許出願中)



アイデア部門

水ようかんUDパック “スベランジャン”
有田英樹 (中津市)【一般の部】



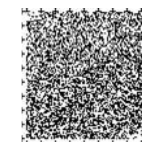
開けにくい水ようかんのふたにすべり止めを付けるというアイデア。すべての人にとって便利になるUDの視点になっていることが評価されました。

チャンネルいらすテレビ

渡辺成美 (竹田市立都野小学校)【児童・生徒の部】



声でチャンネルを変えられるテレビ。日本語、英語、韓国語、中国語の指示に対応でき、あらゆる人へのやさしさを考えていることが評価されました。



トイレのユニバーサルデザイン



まちなかのトイレの「利用しやすさ」は、だれもが安心して外出するための重要なポイントです。

私たちが利用しやすいトイレを紹介しまあ



視覚障がい者



オストメイト



子育て中の親



車いす使用者

① 音声案内付きトイレ



どこに、どんな設備があるのか音声で知らせてくれます



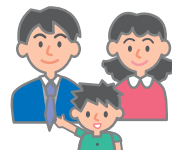
② オストメイト対応トイレ



パウチ交換や腹部の洗浄ができるような設備があります



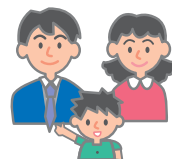
③ 男児用小便器がある女性トイレ



小さな男の子と一緒にトイレに入ることができるので安心です(母親)



④ ベビーチェアがある男性トイレ



赤ちゃんと一緒にトイレに入ることができるので便利です(父親)



⑤ 看板「お気軽にご利用下さい」



気軽に使える多目的トイレが街にたくさんあると、安心して外出できます

利用者以外にも多目的トイレを開放



県が平成18～19年度に実施した「UDのまちづくりワークショップ」(6か所、279人参加)においても、安心して使えるトイレをまちなかに整備してほしいという意見が多く寄せられています。